厚生労働省
近畿厚生局
Kinki Regional Bureau of Health and Welfare

RECRUIT GUIDANCE 2023

近畿厚生局長からのメッセージ

近畿厚生局長　桐生 康生

　このリーフレットを手に取っている方の多くは、近畿厚生局に関心がある学生の皆さんだと思います。
　このリーフレットは、近畿厚生局がどのような所か、具体的には、どのような仕事をしていて、どのような職場環境なのかなどを、少しでも理解してもらえるように説明をしています。
厚生局の仕事の多くは、保健・医療、年金など、生活に直結する仕事で、やりがいもありますし、得られた知識や経験は自分自身や家族のためにもなります。医療職の職員など、様々な職種の職員が働いており、専門的な知識を深めることができます。また、働き方改革も推進しており、休暇取得促進、超過勤務縮減などを進めています。仕事と家庭の両立に関しても、実際の職員のケースを挙げて説明しています。
このリーフレットを読んだり、近畿厚生局が主催する座談会に参加して、近畿厚生局で働きたいと思われたら、是非、官庁訪問の対象の１つに加えてください。高い道徳観と協調性を持ち、公務員として国民に役立ちたいという気概を持つ皆様の応募を期待しています。

2022年度に入局した若手職員へのアンケート

Q1 近畿厚生局を志望したきっかけは何ですか？

【宮下】説明会・座談会で感じた職員の方々の雰囲気の良さ、さらに医療・健康福祉・年金といった日々の暮らしに密接に関わる業務内容に惹かれて志望しました。また、職場が各府県の中心地に位置しているので、通勤がしやすいことも志望を後押ししました！

Q2 職場の印象や雰囲気はどうですか？

【根岸】私の所属する部署は若手が多く、活気ある雰囲気です。また、業務を行っている上で困ったことや相談したいことがあれば上司や先輩になんでも質問できる環境で、恵まれているなぁと実感しています。

Q3 休暇は取りやすいですか？

【竹田】平均して月1日以上は有給休暇を取得しています。先輩や上司も積極的に休暇を取得されているので、休暇を取得することに関して気が引けることもありません。GWや夏季休暇、年末年始は有給休暇と組み合わせて１週間以上の休暇を取得しました。

指導監査課
根岸 真生

指導監査課
竹田 晴樹

特別指導課
宮下 史也

Q4 やりがいを感じる瞬間はどんな時ですか？

【竹田】「近畿厚生局に提出する書類や記載方法を教えてほしい」と電話や窓口で問い合わせがあった際に、的確に分かりやすくお伝えできたと感じたときです。後日、質問いただいた方から「先日は丁寧に教えていただきありがとうございました」と書かれたお手紙が送られてきたときは、嬉しかったです。

【根岸】業務への理解が進んでいると実感したときです。例えば、以前は難しく自分一人では対応できなかったことでも、経験を積むにつれ、ある程度のことは一人で対応できるようになったときにうれしく感じました。

Q5 入局前と入局後で感じたギャップはありますか？

【宮下】年間を通して働きやすい服装が推奨されていることもあり、男子でも働く服装が比較的柔軟に選べる点も嬉しいギャップでした。

【竹田】思っていた以上に研修が充実しているという点です。職員全員が対象の研修や新採職員向けの研修はもちろんのこと、自身の所属の課で実施される研修も多く、有意義なものばかりです。

Q6 就職活動生へのメッセージ

【宮下】これからずっと働き続ける職場を選ぶのはとても勇気がいることだと思います。是非、色々な省庁の説明会に参加して、自分に合うと思う場所を見つけてください。もしそれが皆さんにとって厚生局であるならば嬉しいです。残りあと少しで長い戦いも終わりです、頑張ってください！

【根岸】就職活動は長く、大変なことも多いと思いますが、是非、踏ん張って様々な説明会に足を運んでみてください。きっとご自身に合う素敵な就職先に出会えると思います。もしご縁があって一緒にお仕事できることになったら嬉しいです。応援しています！

本省に出向中の若手職員

保険局保険課　堀内 美希　（平成30年4月採用）

現在は健康保険組合の補助金の執行や予算要求、オンライン資格確認関係の業務などを行っています。初めての業務が多く、周りの方に教えてもらいながら日々勉強の毎日です。

今の部署は予算要求や国会対応等の他律的な業務も多く、大変なこともありますが、本省の業務を経験できるこの機会を生かして、一つでも多くのことを吸収できればと思っています。

大臣官房会計課　松澤 佳穂（平成29年10月採用）

主な業務は、国に収納される金額に関する歳入決算の取りまとめです。全国の都道府県や労働局、厚生局等から歳入の報告を取りまとめ、数字の確認をし、財務省へ報告するというのが主な流れになります。都道府県等や本省内の会計を担当する部署、財務省とやりとりすることが多いです。全国規模の金額のやりとりが見て取れるのは本省勤務ならではと思います。

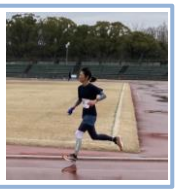
先輩職員からのメッセージ・一日のスケジュール

管理課　課長補佐　　櫻井　有香子

私は、採用後、奈良県及び厚生労働省年金局での勤務を経て近畿厚生局へ異動、現在は管理課にて、医療指導部門の総合調整のほか、事業推進のための体制確保を目的とし、主に、医療指導部門の予算の管理や業務の標準化、各種会議の企画運営といった業務を行っています。

厚生局は、私たちの生活と密接に関係している制度を所管しており、医療・健康福祉・年金など、多岐にわたる業務を担っています。本省との人事交流もあり、多様な経験を通して成長していける職場だと思います。

5:00　起床
朝のランニングでスイッチon。
娘２人のお弁当を作って職場へgo。



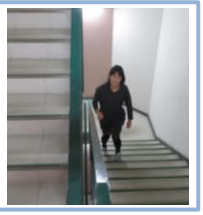
10:45
医療指導部門におけるオンライン会議を運営。

14:00
午前中に整理した事務所等からの報告を、課長に確認してもらい、本省保険局に登録。

5:00　8:00　10:45　12:00　12:45　14:00　15:30　16:30

8:00　出勤
本日の業務スケジュールを確認して課内で共有。
その後、事務所等からの業務実績報告をチェック。
（報告不備を電話で指摘）

12:00　昼休憩
昼食後は、次のマラソン大会に向けてトレーニング。（庁舎の最上17階まで階段上り下り）



16:30　退庁
（フレックス制度を利用）
帰宅後は、娘達からその日の学校での出来事を聞きながら夕食を準備。

仕事と家庭の両立のために～ワークライフバランス～

指導監査課　指導監査第一係長　　樋口　勇司

私は、指導監査課において、大阪府内の柔道整復師等の施術に係る療養費の指導監査業務等を行っています。

双子の誕生に際し、３か月にわたる妻の管理入院があったため、その期間中に育児休業等の休暇を通算して１か月以上取得しました。休業中は長女の保育園への送迎、家事全般をし、週末は長女と二人で妻の着替えを病院へ持って行き近くの鴨川で遊ぶなど、長女の大きな成長を見ることができました。

また、双子が誕生してからも、時差出勤の活用、定時退庁を心掛け、ミルク、沐浴、オムツ交換など、仕事同様、日々育児に奮闘しています。

男性の育児休業等の休暇取得に関して、周囲の皆さんの理解もあり、近畿厚生局は安心して妻のサポート、育児に専念できる職場です。

近畿厚生局における主なワークライフバランスの取組

「子どもが生まれる男性職員の、1か月以上の育児に伴う休暇・休業の取得促進」

子どもが生まれる全ての男性職員が、原則、子どもが生まれて１年以内に、「配偶者の出産休暇」「育児参加のための休暇」「育児休業」などを通算して、1か月以上の休暇・休業を取得するよう徹底しています。

「超過勤務の縮減」

毎週水曜日の定時退庁を徹底し、課所別の時間外在庁者数の見える化を図るとともに、業務の効率化や職員間の業務分配を見直すなど、超過勤務の縮減に努めています。

「勤務形態の多様化」

職員のワークライフバランスの観点からも、フレックスタイム制やテレワークでの勤務を活用しやすい環境の整備に努めています。

「年次休暇の取得促進」

年間16日以上の年次休暇の取得とともに、ゴールデンウィーク、夏季休暇、年末年始の際には、年次休暇と合わせて長期休暇を取得するよう、積極的に推奨しています。

厚生労働省　近畿厚生局　採用Q&A

採用にあたって

Q１.厚生行政の職員に求められる職員像について教えてください。

厚生行政は、医療、健康、福祉、年金など、私たちの暮らしに身近な事柄を数多く担当しています。
そのため、国民生活の質の向上に寄与しようという高い使命感のある方、また、困難な課題にも粘り強く向き合う意欲を持つ方を歓迎します。

Q２.厚生行政に関する専門知識はどれくらい必要ですか？

採用時において、特別な専門知識は必要ありません。
しかし、医療、健康、福祉、年金など国民生活に密着した幅広い分野にわたる業務を通じて段階的に専門知識を身につけてもらいます。

Q３.公務員試験の順位や年齢は、採用に影響しますか？

影響ありません。採用にあたっては、人物重視の面談を実施しています。民間企業での経験や出身校、学部も採用には影響ありません。既卒者の方も歓迎です。

入省後について

Q１.組織の規模、勤務地、人事異動について教えてください。

現在、約320名の職員が勤務しています。
本局は大阪府、府県事務所は福井県・滋賀県・京都府・兵庫県・奈良県・和歌山県にあり、基本的にはこの管轄内での異動になりますが、東京の霞が関にある厚生労働省（本省）や他の地方厚生（支）局等に出向する場合もあります。
採用後は、医療・健康・福祉・年金などの様々な部署に配属され、概ね2～3年サイクルで異動を重ねながら、幅広い業務を経験することができます。
さまざまな経験を積みながらキャリアアップできる環境が整っています。

Q２.職場の雰囲気や上司との関係はどうですか。

チームで仕事を行うことも多く、上司と部下との間のコミュニケーションも良好で非常に風通しの良い職場です。課題に直面しても、一人で抱え込むことなく気軽に相談ができ、先輩職員からのフォローも手厚い環境です。

Q３.職員研修はありますか？

局内での職員研修としては、新規採用者向けに近畿厚生局の業務概要を理解するための研修を設けています。また、階層別研修として各職員のキャリアに応じた研修も行っています。
さらに、局外の研修としては、入局後すぐの厚生労働省（本省）が主催する新規採用者向け研修、人事院の開催する研修など多くの機会が設けられています。

Q４.休暇制度について教えてください。

年次休暇（有給）は年間２０日（４月採用者はその年の１２月までに１５日）の取得が可能です。使用しなかった日数は２０日を限度に翌年へ繰り越されます。
年次休暇（有給）の他、特別休暇（夏季、結婚、忌引き、出産、配偶者の出産、育児参加、介護など）があります。

お問い合わせ先

近畿厚生局　総務課

大阪市中央区大手前4-1-76　大阪合同庁舎第4号館3階
TEL　06-6942-2241　　FAX　06-6946-1500

近畿厚生局の
採用情報はこちら⇒